



校訓『智・仁・勇』

いさおし

学校だより
9月号
R3.9.3(金)
防府市立中関小学校

令和3年度第1回学校評価アンケートの集計結果について

初秋の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。先日は第1回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。以下のとおり結果をまとめましたので、報告いたします。

◆実施日：(令和3年7月2日～9日)

◆児童：726/728人(提出数/児童数)99.7% ◆保護者：716/728人(提出数/児童数)98.3%

※肯定的評価[%]:よく出来ている+大体出来ている、否定的評価[%]:あまり出来ていない+出来ていない。肯定的評価+否定的評価+無回答(または、分からない)=100%

※()は昨年度の割合。()がないものは新規の設問

設問番号	対象	設問内容	肯定的評価(昨年度)	否定的評価
1	保護者	お子様は、楽しく学校に通っている。	95(94)↑	3
	児童	学校は楽しいと思う。	89(90)↓	9
2	保護者	お子様は、授業で学んだことが身に付いている。	82(80)↑	14
	児童	授業がよく分かる。	84(84)	11
3	保護者	学校は「タブレットを活用した授業づくり」に取り組んでいる。	73	4
	児童	学校で、タブレットを使い、楽しく勉強している。	94	3
4	保護者	学校は、お子さんが学習に専念できる温かい人間関係を築いている。	76(88)↓	6
	児童	先生は、学習で友だちと話し合ったり、考えたりしやすい雰囲気をつくったりしている。	85(85)	7
5	保護者	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。	64	33
	児童	家で、宿題や自主が学習に一生懸命取り組んでいる。	81(80)↑	16
6	保護者	お子様は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	80(81)↓	19
	児童	「早寝・早起き・朝ご飯」をいつも守っている。	73(81)↓	22
7	保護者	お子様は、進んで読書している。	36(32)↑	61
	児童	学校や家で進んで読書している。	68(61)↑	27
8	保護者	お子様は、自分からあいさつしている。	60(60)	35
	児童	いつでも、自分からあいさつしている。	72(75)↓	24
9	保護者	お子様は進んで運動している。	63(55)↑	34
	児童	家や学校で、外で元気に遊んでいる。	83(79)↑	14
10	保護者	お子様は自分自身や友達を大切にしている心が育っている。	91(90)↑	4
	児童	友達と仲良くしている。	90(92)↓	5
11	保護者	学校は、「いじめのない学級・学校づくり」に取り組んでいる。	71(73)↓	5
	児童	いじめがなく、安心して学級で過ごしている。	85(82)↑	9
12	保護者	折に触れて、家庭で交通安全や防災、感染症予防について話をしている。	83	22
	児童	自分や身の回りの人の安全を考えて生活している。(交通安全や防災、感染症予防)	89	6
13	保護者	学校は、便りやホームページ、メールなどで方針や取組がよく分かるように伝えている。	90(90)	3
	児童	家で、学校であったことを話している。	78(77)↑	18
14	保護者	学校は、地域(ひと・こと・もの)を生かした教育を進めている。	75(75)	5
	児童	地域に出て行ったり、地域の方と一緒に勉強したりしている。	42(48)↓	39

◎自由記述の報告については割愛させていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。

裏面につづく

第1回学校評価アンケートを受けて～課題解決アクションプラン～

上記の結果をもとに、本校の課題を洗い出し、教職員が3チームに分かれて、課題解決に向けて、5つの「アクションプラン」を作成しました。保護者の皆様の声を生かして、よりよい教育活動・学校運営をめざします。ご理解とご協力をお願いします。

《学力向上チーム》

アクションプラン①「ICT活用や読書等『学習のようす』についての積極的な情報提供」

学校評価アンケートで「わからない」との回答が少なくないことから、学校での学習のようすが、保護者の皆様によく伝わっていないことが推察されます。ICT活用、朝の読書、「うちどく」、学習のようす等、学校での取組や子どもたちのようすを、各種便りやホームページ等を通じて、より積極的にお伝えしていきます。



アクションプラン②「『家庭学習の習慣の定着』を第一義にした指導の工夫」

家庭学習の一番の目的は「家庭での学習習慣を身に付けること」です。一律に課すのではなく「やらなければならない課題」「やるとよい課題」を示す等、課題の内容、量や行い方を工夫し、家庭での学習習慣が定着するよう取り組んでいきます。また、粘り強く取り組む姿勢を価値付けたり、取り組めなかった理由をお子さんと話し合い、取り組み方を考えたりしていきます。



《心の教育チーム》

アクションプラン③「あいさつの仕方や場面、そのよさに気付く『あいさつ指導』の工夫」

あいさつや会釈をする子どもは少しずつ増えていますが、「自分から」「いつでも」「どこでも」できる子は少ないようです。「いつ」「どのように」あいさつをするとよいのかを、家庭、地域、学校の場면을映像等を用いて具体的に示すとともに、教職員自身が範を示したり、児童のあいさつのよさを価値付けたりしていきます。

※家庭・地域と取り組む『あいさつ週間』（11月8～12日）も拡充していきます。

家庭・地域で見られた児童のあいさつについての情報をお寄せください。



《安心・安全チーム》

アクションプラン④「『早寝』『早起き』『朝ご飯』『外遊び』『危険予測』の呼びかけの継続」

「遅寝」の主な原因にSNSやゲームの使用が考えられるため、メディアとのつきあい方について呼びかけたり、「朝ご飯」の重要性について授業や資料をとおして呼びかけていきます。また、「休み時間を室内で過ごす」子どもが増えていることから、体育科学習や行事と関連させて、なわとびやランニング等の運動の機会やきっかけをあたえられるようにします。また、校内での怪我が増えていることから、映像等で、具体的な生活場面を捉え、どこにどんな危険が潜んでいるのか、KYT（危険・予知・トレーニング）学習を行っていきます。



《その他、教育活動全般》

アクションプラン⑤「コロナ禍における対策を講じた教育活動の促進と、ICT活用による効率化」

コロナ禍においては制約はありますが、地域の「ひと」「もの」「こと」を生かした教育活動を厳選し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子どもたちの学びを止めないよう努力していきます。また、各種お知らせ、アンケート、学校との確認事項等については、電子メールやホームページ掲載、アンケートシステム利用等、ICT活用をできることから始め、試行していきます。

